

書籍紹介

MINERVA 人文・社会科学叢書・237

日本医療の近代史 制度形成の歴史分析

宗前清貞(著)

A5/頁 344/2020 年

定価: 6,500 円 + 税

ミネルヴァ書房 刊



政治学における医療問題は、社会保障や福祉国家研究の一環として扱うのがこれまでの通例だった。ただし日本の医療システムは、経済負担が軽いのに衛生状態は高い。日本が後発福祉国家である以上、医療制度が突出して発展しているのは制度をそのように構築した意図的な帰結である。こうした特性はいつ、どのように生じたのか、本書は歴史的経緯を丹念にたどり、医療面における日本の近代化過程を解明する。特に本書は公衆衛生行政の発達に着目し、国家はもちろん地方自治体の高い政策実施能力が医療制度発展の鍵だったことを明らかにした。医療機能も視野に入れる本書は、医療と福祉国家の関係に新たな視野を提示している。